

平成26年3月25日

平成26年度 社会福祉法人 同善福社会 事業計画

1) 全体

- ① 利用者の満足度を高め、通所率を向上していく。あわせて利用者増加への取り組みを推進していく。
 - ・就労移行支援事業は新たなトレーニングを取り入れていく。就労移行支援利用者には訓練の評価表を用いて達成度を明確にし、レベルを引き上げると共に訓練の意識が高まる仕組みを整えていく。利用者増加のために市町村、関係機関に広報活動を積極的に行っていく。
 - ・生活介護事業は重症心身障害者の受入準備として、職員勉強会を実施していく。
 - ・就労継続支援事業（B型）は高収益な作業を取り入れ工賃アップを目指すと共に障害特性を考慮した幅広い作業を開拓していく。
 - ・施設内で移籍を希望される方については利用者のニーズにあった事業へ円滑に移籍が行われるよう支援していく。
 - ・今後、利用者の増加に伴い、支援員の増員や配置を検討していく。
- ② 開かれた施設運営をするために地域のイベント等に積極的に参加し、利用者が地域の中で暮らす為の基盤作りを行うと共に地域福祉に取り組む。
 - ・高浜市わくわくフェスティバル（高浜市社会福祉協議会）
 - ・高浜市わくわく夏まつり（高浜市商工会）
 - ・地域の清掃、学校の行事、町内会のお祭り等に積極的に参加する。また、施設内で他機関・他団体との共同企画を開催し、地域の方々に施設を開放していく。
 - ・ざっくばらんなカフェ
 - ・昭和で元気になる会
- ③ 教育機関・養成機関等からの実習生を積極的に受け入れ福祉人材の育成に貢献する。
 - ・高浜高等学校福祉科より介護実習受入
 - ・日本福祉大学より社会福祉士実習受入
 - ・日本福祉大学中央福祉専門学校より社会福祉士実習受入
- ④ ボランティアの受入を積極的に継続していく。

2) 就労移行支援事業

- ① 1日当たり10名、100%以上（対定員比率）の通所率を目指す。
- ② 新規利用者5名確保を目指す。
- ③ 5名の就職者を送り出す。

- ④ 日常の就労支援プログラムを充実させるために実習先、見学先の新規開拓を行う。
- ⑤ 現状の就職先に合った作業訓練を充実させる。
- ⑥ 作業訓練だけでなく、日常生活能力の向上も含めた就労準備講習の提供を行う。
- ⑦ 定期的なアセスメント、モニタリングを継続的に実施していくことで一人ひとりの長所、課題の見える化を進める。

3) 生活介護事業

- ① 1日当たり15名、100%以上の通所率を目指す。
 - ・現行利用者の通所日数の見直しを継続。
- ② 一人ひとりの利用者特性及びニーズに即したプログラムを提供する。
 - ・入浴（入浴を希望された日は、散歩無し）
 - ・散歩（散歩を希望された日は、入浴無し *夏期、雨天時は、屋内運動を行う）
 - ・生産活動（全員）
- ③ 社会参加、余暇活動の機会を提供する。
 - ・自分が稼いだ工賃を使用する。
 - ・外出（1日かけて希望場所におでかけ）を2回/年、買い物、カラオケ、外食。
- ④ 生産活動は、生活介護全体で月額6万円の収入を確保し、継続する。
 - ・(株)ススキゴム・・・バリ取り作業
 - ・収入源になるものを検討する。
- ⑤ 地域へアピールをする。
 - ・他事業、地域のイベントに参加する。

4) 就労継続支援事業（B型）

- ① 1日当たり15名、100%以上（対定員比率）の通所率を目指す。
- ② 障害特性等に合わせた作業を提供し、工賃原資を確保する。・印刷業務の拡大。
 - ・現自主製品の販売拡大（紙すき教室。高浜の湯の安定した製造等）及び、缶バッチを使った自主製品の模索。
 - ・その他作業⇒・吉浜まちづくり協議会の有志の方々にご協力を仰ぎ、農業をして野菜の販売を行う。
 - ・委託販売を開始。袋詰め等軽作業の確保。
- ③ 利用者工賃については、工賃規程に則り適性に支給し、夏季・冬季及び年度末ボーナス支給を引き続きする。
- ④ 目標工賃（※毎日通所された方についての金額・定員15名で計算）
 - ・時給20円アップし、一人当たり月額17,000円の支給を目指す。

以上